

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 児童発達支援センター パステル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	2	・活動に応じて部屋を3つ活用	・次年度は移転に向けて改装工事を現在業者と進めている
	2	職員の配置数は適切である	4	2	1	・配置基準に応じて対応している	・状況に応じて採用を検討
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	0	・施設内はバリアフリー	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	0	5	・定期的に児童の課題や業務改善について話し合っている	・内容、振り返りが不十分な所がある。会議などで共有していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	2	・保護者へ向けたアンケート調査の実施	・職員の役割を明確にし、業務改善を行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1	・ホームページにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	2	・内部監査を実施、苦情報告に関しては第三者委員会を設置	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	0	・必要に応じて研修会へ参加	・引き続き研修会の参加を行っていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	4	1	・保護者と連携を取りながら作成している	・医師、作業療法士と共同アセスメントツール作成中
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	2		・医師、作業療法士と共同アセスメントツール作成中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	4		・職員で役割を決めて行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3	1	・ダンボールで教材作成しオリジナルな活動に提供	・四季や行事などに応じて、様々な計画を行っていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	3		・次年度より長期休暇の内容を具体的に行っていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	2	・家族と連携を取りながら作成している	・学年に応じた活動プログラムの作成、卒業後に向けての活動プログラムの作成が必要
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	1	・朝礼時に利用者の申し送りなど共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0	5	・その都度必要に応じて行っている	・職員間の情報共有の場を増やしていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	4	0	・空いている時間帯や送迎終了時に日々記録は徹底している	・検証、改善に繋がるように改善していく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	1	・自発管がモニタリングに参加し、後日報告し共有している		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	2	・創作活動など、様々な取り組みを行っている	・不十分な所は次年度より改善していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	・児童発達管理責任者や専門職が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	・下校迎え時に担任と共有を図っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	2	・家族と連絡体制を取り、月1回クリニック和陸のドクターが往診	・継続して実施していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	1	・会議で利用の様子や配慮事項など、児発管、専門職が聞き取りしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	1	・同事業所内に移行するケースが多く、体験や情報共有を多く持っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	2	・研修に参加している	・必要性に応じて行っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	5		・次年度は計画していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	3	・医療的ケア児の自立支援協議会に参加している	・必要性に応じて行っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3	0	・送迎時や連絡帳を通じて行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	4		・自宅での困り感(入浴・食事など)の支援について助言など行っていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3	0	・利用契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	0	・児発管が相談に応じ行っている	・相談に応じ必要な知識、スキルの獲得や関係機関との連携を図る
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	4		・次年度より保護者が集まれる場を設けていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	・苦情があった場合、管理者、主任、児発管で話し合いすぐに対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	0		・子供たちの活動の様子を、月1回の会報発行を実施していく
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	・職員間で周知、徹底を行っている	・今後も徹底して行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2	0	・文書に残したり、具体的に説明している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3		・次年度より計画していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	0	・保護者に公文を 発行し周知してる	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	消防計画書に基づ いて実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3	3		・次年度より計画していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3	3	・利用契約時に保 護者に確認を取っ ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	0	・指示書はいただ いていないが、家 族と情報共有して いる	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	・全職員で確認し ている	